

**第41回 国立市健康危機管理対策本部会議記録**

|       |  |
|-------|--|
| 日時    | 令和4年12月27日（火） 11時00分から11時40分   |
| 場所    | 市役所2階 市長公室   |
| 出席者   | 永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎政策経営部長松葉子ども家庭部長、馬橋子ども家庭部参事、大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、生活環境部長代理田代町の振興課長、北村都市整備部長、中島基盤整備担当部長、橋本教育部長、林会計管理者、佐伯オンブズマン事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長、菅野監査委員事務局長   |
| 付議事項  | <p>(1) 都内、市内の状況の確認</p> <p>①東京都の状況（資料No.1～8）</p> <p>②市内の状況</p> <p>(2) 自宅療養支援室の対応について</p> <p>(3) 市の対策について（年末年始の対応等）</p> <p>(4) その他</p> <p>①消防機関からの情報</p> <p>②国立市医師会春日井会長からのコメント</p> <p>③インフルエンザの感染状況について</p>   |
| 主な内容  | <p>（進行：大川健康福祉部長）</p>   |
| 1 議 題 | <p>(1) 都内・市内の状況について（橋本健康まちづくり戦略室長）</p> <p>①都内の状況(資料No.1～7)</p> <p>・感染者が増加し、モニタリングコメントにおいても「感染が拡大している」、「医療体制がひっ迫している」とのコメントが出ており、オミクロン株からBA2.75株への以降もしつつある。</p> <p>②市内の状況</p> <p>全数届でなくなったが、届出のある60代の割合から計算すると、12月の感染者数は、おおよそ2000人以上と考えられる。</p> <p>(2) 自宅療養支援室の対応について（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <p>・10件/日の相談が続いている。</p> <p>・高齢者の感染者が増加するのに比例し、入院療養の方も増加している。</p> <p>(3) 市の対策について（年末年始の対応等）（橋本健康まちづくり戦略室長）</p> <p>●（資料No.11～No.12）</p> <p>・東京都臨時オンライン発熱診療センター（1/29～1/3、24H対応）や東京都陽性者登録センターについて、周知を行う。</p> <p>●（資料No.9～No.10）</p> <p>・年前年始の診療、検査期間は市HPへ掲載する。休日診療所の情報については、市HPへ掲載する。</p> <p>・薬剤師会の10薬局で実施している検査キットの配布、パルスオキシメーターの貸与は12/30～1/3の休業中は、市役所に対応する。</p> <p>●自宅療養支援室・保健センター</p> <p>・全庁的な協力をもってシフトを組み、年末年始の相談対応を行う。</p> |

(4) その他

①消防からの情報（立川消防署内山予防課長）

12月に入り、コロナの出動が増加傾向である。

病院選定困難事案について発生しており、東京消防庁全体においても増加しており、119番通報がつながりにくい状況である。

②国立市医師会春日井会長からのコメント

- ・新規感染者数は増加傾向で、小児科においても子どもの発熱相談が増加していると聞いている。
- ・コロナとインフルエンザの同時検査キットの医療機関電の流通は安定している。
- ・年末年始の発熱外来受診が難しくなる前に、体調不良となった場合の備え（検査キット、食料等、解熱鎮痛剤など）を数日分用意しておいてほしい。

③インフルエンザの感染状況について（橋本健康まちづくり戦略室長）

保健所から、感染が拡大してきているとの報告が入っており、感染が拡大していただろうと予想される。

2 本部長指示及び対応方針について（永見市長）

年末年始に体制をとっての対応、相談会などあるが、り患しないよう体調を管理して業務にあたっていただきたい。

以上